

# 枚方寝屋川消防組合 **DX** 戦略



## ～スマートな消防を目指して～

〈第1回・DX戦略の概要について〉

### 企画戦略課

消防分野におけるDXを推進し、市民への行政サービスを向上させるとともに、業務効率化によって職員の力を最大限発揮するために、令和5年3月、「枚方寝屋川消防組合DX戦略～スマートな消防を目指して～」を策定しました。

機関誌「纏人」では「枚方寝屋川消防組合DX戦略」と本消防組合のDXの動向などについて連載で解説します。

#### 1 本戦略策定の背景

##### (1) 社会の動向

新型コロナウイルス感染拡大を機に、企業等ではテレワークやWeb会議等の活用が急速に進み、日常生活においてもインターネットを通じた物やサービスの購入機会の増加や、キャッシュレス決済も普及しました。

一方で、行政全体のデジタル化の遅れや、その課題が指摘されています。

このようなデジタル化の遅れに対して迅速に対処するとともに、「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体の**デジタル・トランスフォーメーション(DX)**が求められています。

※DXとは、「デジタル」(Digital)と「変革」を意味する「トランスフォーメーション」(Transformation)により作られた造語であり、「Transformation」の「Trans」を「X」と略することから「DX」と表します。

##### (2) 消防を取り巻く環境(国の動き)

消防庁では、新型コロナウイルス感染症対策やデジタルガバメント実現のため、「書面主義、押印主義、対面主義の見直し」や「行政手続のオンライン化の推進、業務プロセス・システムの標準化」といった課題への対応を進めている。特に申請・届出が多い火災予防分野において電子申請等の導入を促進しているところだ。

また、災害時に消防本部・消防団が入手した映像の国・自治体間での共有に向けた検討や、消防団員へのドローン操縦訓練などの災害対応講習による災害対応の高度化推進、消防共有サイトシステムの本格稼働、救急業務におけるマイナンバーカードの活用、消防業務システムの標準化・クラウド化の検討など、消防防災分野におけるDXを推進しています。

### (3) 本消防組合を取り巻く環境

本消防組合では、国の「書面主義、押印主義、対面主義の見直し」や「行政手続のオンライン化の推進」の動きを受けて、「本消防組合における押印廃止・行政のデジタル化の方針について（通達）」（令和2年12月25日付け通達第11号）により、次の事項について推進することとされました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 市民及び事業所が行う申請手続等において求めている申請書の氏名欄の押印の見直し</li><li>② 行政手続きのデジタル化のあり方等の検討と今後のオンライン申請等を可能とするための環境の整備</li><li>③ 組織内部での手続きの効率化の推進と電子決裁やペーパーレス化の検討</li></ul> |
|---|

## 2 DX戦略の基本的事項

### (1) 戦略目標（ビジョン）

本戦略は、第5次将来構想計画の「めざすまちの姿」である「安全・安心を実感できるまち～ともにつくる～」を実現するための分野を横断した取り組みとして、「デジタル」を視点にした事業構築を図るためのものであり、本戦略の目標（ビジョン）を「**DXの推進によるスマートな消防行政の実現**」とします。

### (2) 3つの取組方針

- ① 市民目線に立った行政サービスの提供
- ② 職員の力を最大限発揮するための業務の効率化
- ③ デジタル化を推進するための環境の整備

### (3) 戦略の推進期間

令和5（2023）年度から令和8（2026）年度までの4年間とします。

### (4) 戦略の推進期間

本消防組合の政策本部会議で、DXに係る検討・進捗確認等を行い、取り組みの一層の推進を図ります。

また、本戦略の具体的な取り組みの検討については、消防本部各課課長補佐から構成さ

れる「デジタル戦略プロジェクトチーム」を中心として庁内横断的に推進します。

今後、現行の組織体制を見直し、DX部門の設置について検討するとともに、職員の**デジタルリテラシー**※の向上を図ります。

※デジタル技術を理解して適切に活用するスキル。

## 3 3つの取組方針の具体的な内容

### 取組方針1

#### (1) 取り組みの方向性

ライフスタイルの多様化に対応し、一人ひとりに合ったサービスや情報を提供するなど、市民・事業者等に寄り添ったデジタル化を進め、いつでも、どこでも、誰でも手軽に手続きできるようにします。



#### (2) 具体的な取り組み

##### ① 行政サービスのデジタル化による市民等の利便性向上

- ・ タブレット端末等を利用した窓口受付
- ・ 来庁する市民を待たせない窓口予約
- ・ オンライン申請手続の整備
- ・ 市民・事業者等との面談や相談のオンライン対応
- ・ 会議、講習、イベント等のオンライン開催

##### ② オープンデータの活用等、多様な主体との協働を促進する情報化の推進

- ・ 本消防組合が保有するデータの積極的なオープンデータ化

##### ③ 市民のニーズに応じた手数料納付方法の拡充

- ・ キャッシュレス決済の導入の検討

### 取組方針2

#### (1) 取り組みの方向性

あらゆる内部事務のデジタル化を進め、市民・事業者等に向き合う時間を最大化するとともに、企画立案において、デジタル技術やデータを活用するなど、業務の高度化・効率

化を進め、職員の力を最大限発揮します。

## (2) 具体的な取り組み



ペーパーレス



業務改善・BPR

### ① B P Rの取組の推進

- ・ 庁内のあらゆる事務事業におけるペーパーレス化
  - ・ A I - O C Rを活用することによる大量の紙資料の自動読み取り及びデータ化  
※人工知能を用いた光学文字認識。R P Aと組み合わせることにより、大量の紙資料をデータ化し、システムに入力するまでを自動化することができる。
  - ・ R P Aの活用による大量のデータ入力作業の自動化  
※これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。
  - ・ A Iチャットボットの活用による市民・事業者等や職員からの問い合わせへの自動応答  
※チャット上での質問に自動で回答する「チャットボット」にA Iを搭載。A Iが学習を繰り返すことにより、精度の高い回答を行えるようになる。
  - ・ A Iを活用した事務処理のチェック
  - ・ A Iを活用した議事録作成
  - ・ 職員間のやりとりにおけるw e b会議ツールやチャットツールの活用
  - ・ デジタル技術を活用した現場の状況確認・分析
  - ・ タブレット端末等を活用した、現場業務における即時的なデータ入力・確認
  - ・ 地図情報や統計情報等の庁内データを連携する仕組みづくりと効果的な活用
  - ・ タブレット端末等を活用した会議の推進
  - ・ 動画・音声配信による研修の実施
- ### ②災害対応への ICT 活用
- ・ 映像による 119 番通報
  - ・ A Iを活用した S N S上の情報収集・分析・共有
  - ・ ICT 活用による職員参集情報や被害情報

などの情報共有

- ・ 延焼シミュレーションの指令システムへの実装

### 取組方針 3

#### (1) 取り組みの方向性

個々の職員がデジタル技術の進展に対応し、活用できるよう、職員の育成を行います。特に専門的な知識や技術を求められる分野については、外部専門人材について検討します。

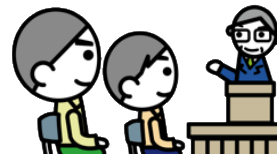
情報セキュリティ対策を推進するとともに、クラウドサービスの積極的な活用、情報システム及び機器の最適化などを進めます。



テレワーク・職場環境



情報システム機器の整備



人材育成・研修



クラウドサービス

#### (2) 具体的な取り組み

- ##### ①社会変化や技術の進展に対応する人材の育成と高度な技術を有する外部専門人材の活用
- ・ 職員の知識や技術を底上げするための研修の実施
  - ・ デジタル化をけん引するための（外部人材を含む）人材の確保・育成
- ##### ②情報セキュリティ対策のさらなる強化
- ・ デジタル技術の進展に即した情報セキュリティポリシー等の随時見直し
- ##### ③効率的な行政運営を支える情報基盤と職員の多様な働き方を支える環境の整備
- ・ 庁内 LAN の無線化
  - ・ 情報システム機器の整備
  - ・ クラウドサービスの活用
  - ・ テレワーク環境の整備

